

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：経済分析（1）	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：15:00～16:30	
司会者名（所属）：奥田隆明（名古屋大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： セッション全体としての討議は行わなかった。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：（85）許 大明（京都大学） 差別化財企業が直接投資により生産を行う場合には固定費用（サックコスト）が発生するのに対して、アウトソーシングする場合には固定費用が発生しないと仮定する理由について質疑が行われた。先進国と途上国が混在するアジア経済を描写するモデルとして今後の展開が期待される。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：（86）北浦康嗣（岐阜大学） 提案されたモデルの中には1)ストックとしての社会基盤整備と2)フローとしての社会基盤整備の2つが考慮されているが、2)フローとして社会基盤整備が現実の問題としてどのようなものを表わすのかについて質疑を行った。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：（87）加藤裕人（東北大学） 技術進歩（全要素生産性）を確率変数として扱うことの意義について質疑を行った。また、人的資本の具体的な内容及びその観測可能性についても質疑を行った。動学的マクロ経済モデルを用いた政策評価への展開が期待される。</p>